



冬将軍来る

2023年11月24日(金)に札幌市に冬将軍が来ました。午前中は暖かかったのですが、午後から急に寒くなり、雨が雪に変わりました。それから強い風と一緒に次の日まで雪が降り続けました。一面、銀世界に変わり、冬将軍がやってきました。その日、妻と次男が網走から車で札幌市にやってきましたが、夜間ホワイトアウトの場所があり、怖かったそうです。北海道も長い冬に突入しました。

念願かなって

2023年11月23日(祝)、勤労感謝の日に樋口季一郎記念館に行きました。その日は晴天で、冬将軍前最後の休日でした。札幌にいるうちに一度訪れておきたいと以前から願っていましたが、この日実現しました。

樋口季一郎中将はどんな人かというと、1938年満州で樋口ルートを作って2万人のユダヤ人を救出したり、1943年キスカ島からの陸海軍の撤退を成功させたり、1945年8月16日以降もソ連軍の南樺太や千島列島への侵攻に対し抗戦を命じ、ソ連軍の北海道上陸を阻止しました。その後、スターリンを激怒させ、戦犯にされかけようとしたのですが、満州時代助けたユダヤ人の懇願もあってマッカーサーが樋口中将を引き渡すことを拒否し、保護されました。1946年には札幌から小樽に移り、1947年からは祖母の実家であった宮崎県小林市に転居し、1970年にお亡くなりになりました。

ユダヤ人にビザを発行したのは杉原千畝が最初ではなく、実は樋口季一郎中将だったのでした。自分の地位を失うかもしれない危険がある中、中央からもユダヤ人擁護を拒絶されていたにもかかわらず、若いころ、ポーランドなどでユダヤ人に親切にされた経験から人道主義の立場から弱い者いじめはいけないということでユダヤ人たちにビザを発行し、助

けました。この時、樋口中将に協力したのはその時、樋口中将の上司であった松岡洋右と東條英機でした。どちらも国際的には悪者にされていますが、いじめられていたユダヤ人を助けることは人間の道ということに不問にし、樋口中将に罪を下しませんでした。

歴史というものは戦争の勝者達によって書き換えられた部分があり、真実が隠されていることが多々あります。樋口季一郎中将にしる、東條英機、松岡洋右にも隠された功績があり、一概に悪人とは判断できないのではないかと思います。

ユダヤ人のゴールデンブックの中に樋口季一郎中将と杉原千畝の名前が記載されています。



樋口季一郎記念館前にて

2023年10月25日から一ヶ月間の活動

11月27日(月) 一粒の麦 No. 235 発行

聖日礼拝 祈祷会 毎週(日)

反省と課題

「人間として当然のことをしたまで」と樋口中将は語られています。ポーランド駐留時代に暗号ではトップクラスであったポーランドから暗号を学び、海軍の暗号は米国に筒抜けだったにもかかわらず、陸軍は最後まで解読されませんでした。また、ソ連の暗号を解読し、北海道侵攻も防ぎました。日本にも胸を張って世界にアピールできる軍人がいたことと、人道主義者がいたことを後世にも伝えていく必要があると思います。